2025年1月25日

課題名：血液透析患者に対する弁膜症手術時における
体液過剰管理の有効性

◆研究の目的と概要◆

当院では、透析患者さんの心臓弁膜症手術における術前透析管理についてドライウェイトの増量の妥当性を調べています。本研究では、手術成績向上を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2003年8月から、2024年8月までの間に、心臓弁膜症で手術を行った透析患者の方。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、年齢、身長、体重、BMI、脳血管障害の既往、冠動脈病変の有無、eGFR、EuroScore（クレアチニークリアランス、末梢血管病変の有無、心臓手術既往の有無、COPDなど）、STS score（ヘマトクリット、白血球数、血小板数、クレアチニン値、高血圧、透析、心不全分類など）、在院死亡、合併症、遠隔期合併症

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2025年4月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

心臓血管外科 研究責任者 菅谷 篤史

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明